

令和4年度滑川町の教育について

令和4年5月24日

滑川町では「第3期滑川町教育振興基本計画」に基づき、町の教育を進めてまいります。本年度の重点施策は別紙「令和4年度滑川町教育行政重点施策」に示してあります。また、地域と一体となり、元気や人の成長を促す取組として、子供の生活習慣にスポットを当て、家庭ですべきことを原点から見直し、先行き不透明な時代だからこそ、人として身に付けるべきものがあります。このような現代だからこそ、大切なことを見失うことのないように、3つの合い言葉を作成し、令和3年度から取り組んできました。

また、地域との連携を深めることにより、地域全体で子供達の成長を支えることを大切にしています。地域の関係が希薄になる中で学校、子供、家族、地域が一体となり、互いに成長できるような取組を進めています。

1 基礎的生活習慣の見直し

先行き不透明な時代に対応し、人が人間らしく豊かに生きていくことが大切です。そのためには、基礎的な知識・技能、思考力はもちろんのこと、価値を見つけ、生み出す感性と力、好奇心・探究心など学校だけではなく家庭や地域と一体となって子供の成長を支えていくことが必要です。

その基盤となるものが基本的生活習慣の向上であると考えます。分かりやすく3つの合い言葉ということで設定をいたしました。

子供の生活習慣向上

今大切にすべき、家族で、「元気・学び・会話」

3つの合い言葉

○「元気の素をつくりましょう。」

- ・早寝・早起き・朝ごはんを大切に作る。
- ・ゲーム・テレビ・スマホ等の時間の制限をする。

「朝ごはん」の呼びかけ：欠食率0

「毎月23日を、ノーテレビ・ゲームデー」、「ノースマホデー」の設定。

○「学びの時間をつくりましょう。」

- ・家庭学習の時間をつくりましょう。
- ・一緒に本や新聞を読みましょう。(家読、共読の推進)

「ターナちゃんノート」の活用

「子ども読書の日4月28日」「子ども読書週間4月28日～5月12日」「文字活字文化の日10月27日」「読書週間10月27日～11月9日」

○「会話を大切にしましょう。」

- ・あいさつをかわし、目を見て会話をしましょう。
- ・「なぜ」「どうして」「なるほど」を大切にされた会話をしましょう。

まず1つめは元気の素をつくることです。元気は食や睡眠、学びから、そして、安定した生活から作ります。例えば、朝食を毎日食べることです。朝食を食べることで脳が活性化し、思考力や体力、さらには集中力も高めることができます。そして、このような力が備わることで豊かな心を手にすることができると思います。

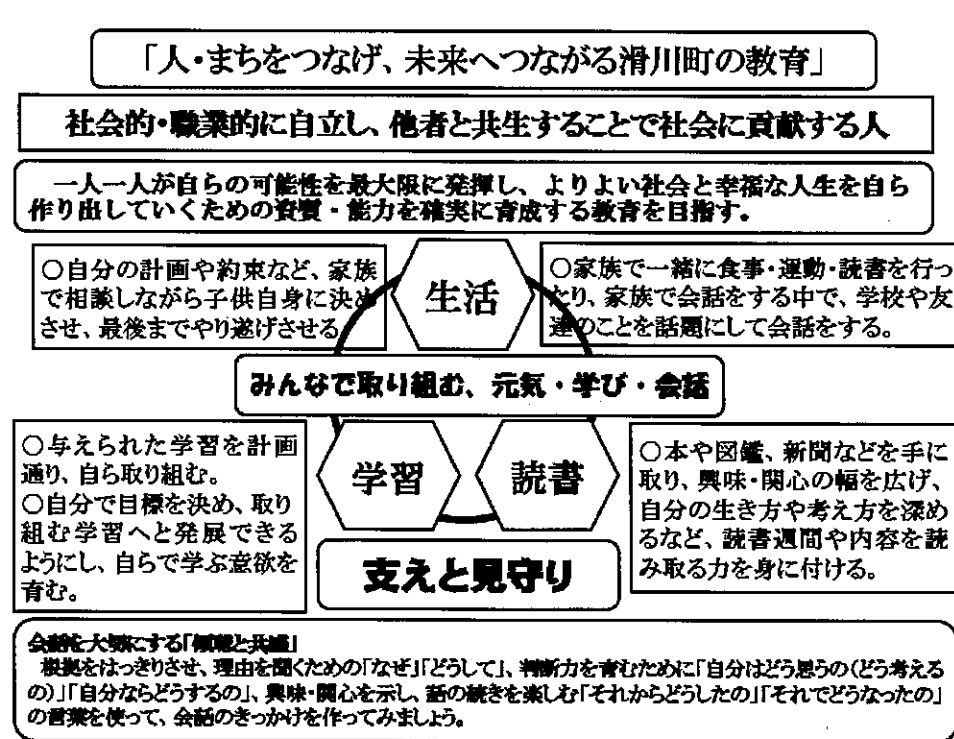
2つめは学びの時間をつくることです。学びは、学校の勉強だけではありません。生活の中に多様な学びがあります。例えば、読書の習慣化です。落ち着いて本と向き合う時間を確保することで、知識を得ることができるとともに、成長に伴いこの時間が学習時間の確保や学習の習慣化にもつながります。

3つめは会話を大切にすることです。会話をするためには、相手や情報、さらには人としての振る舞いも必要です。例えば、家の中でも家族同士であいさつや会話を増やすことにより、自己表現が進み、自分の意思をはっきりと伝える力が身につきます。

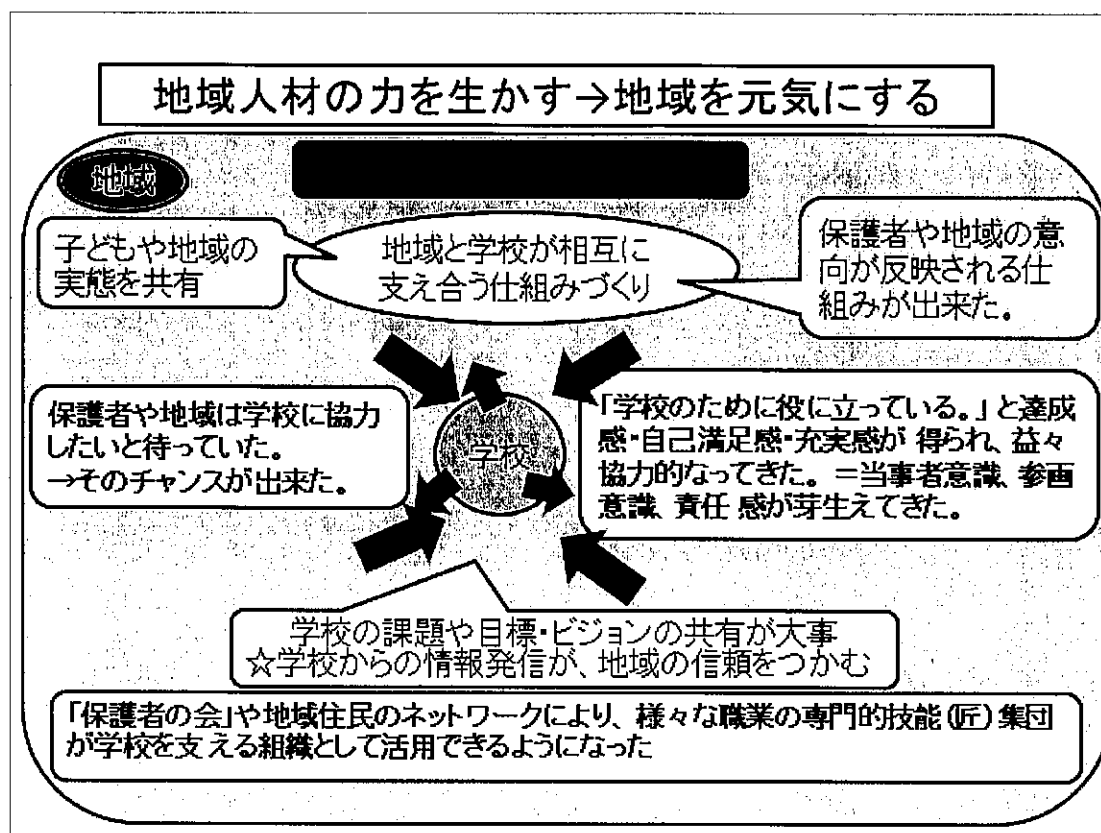
これらは家庭を核にして進めることですが、町全体で進めることで、人は大きく育ちます。コミュニケーションが希薄になりつつある今だからこそ、これらを大切にすることを進めています。

3つの合い言葉を柱として、それらが結びつき、未来をつくる子供達の育成を推進しています。

また、ここに「支えと見守り」が加わり、取組を進める中で、子供と家族がつながり、家族と学校、学校と地域がつながっていくような取組を進めていきます。



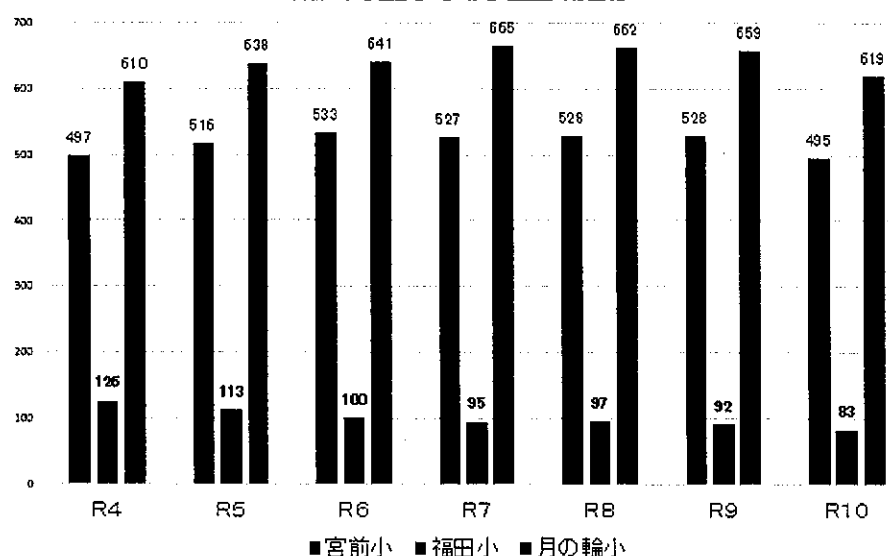
2 地域全体で子供たちの成長を支える取組



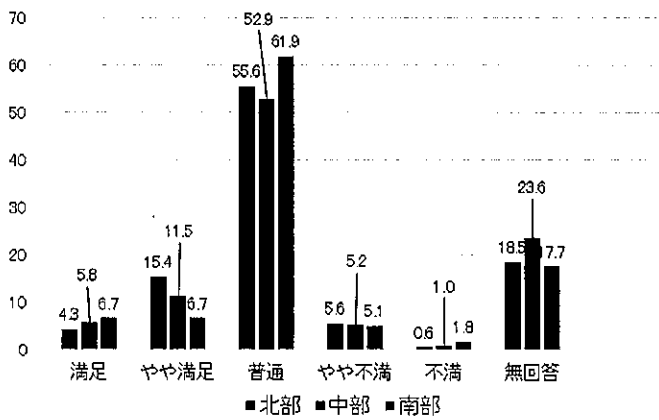
「子供たちの成長」を願い、地域と学校が協働することにより、地域が元気になり、元気になった地域に学校が支えてもらったり、学校からの情報発信により、地域からの信頼を得ることができたりする相互の関係により皆が元気になるように取り組んでいきます。

【滑川町北部地区の子供子育ての今後について】

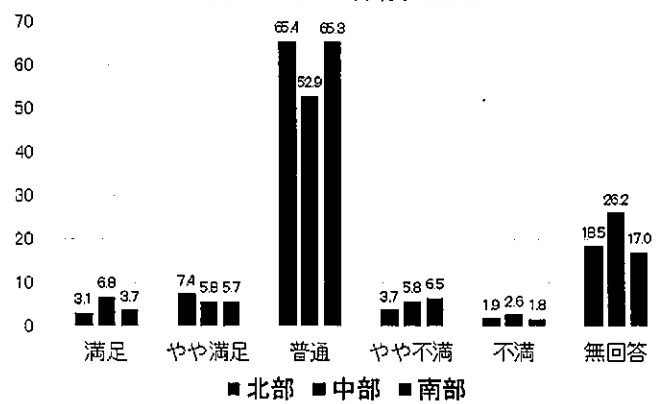
滑川町立小学校児童数推移



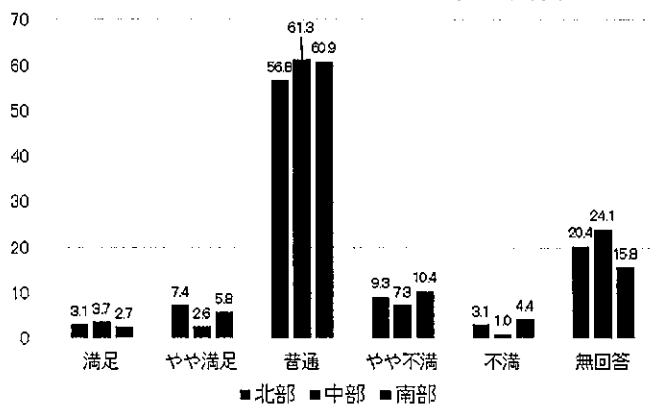
地域や家庭と連携した教育の充実



郷土文化の保護・活用



地域コミュニティの形成と町づくりの担い手育成



自分たちが「当事者」として、自分たちの力で、学校や地域を創り上げていく...



子供たちが誇りを持って、幸せに暮らせる地域、子供たちが「志」を果たしていける未来を創り上げていくために

**地域の子供への思いも反映して欲しい
この地域の子供は...子になって欲しい。**

これからの子供たちに求められる力

- 社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できる。(多様な経験)
- 多様な人々と協働していくことができる。(多様な人材)
- 新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことができる。(多様な学び)

人は、人を浴びて、人になる。(子供の社会性を育む)
地域とともにある学校

これからの社会の姿



共有した目標に向かって、対等な立場の下でともに活動する協働関係
相互補完的に連携・協働

協働とは、同じ目的のために、対等の立場で協力してともに働くこと

学校教育目標

学校が達成する目標



学校と地域で達成する目標



福田小学校

特認校
制度の活用

特色ある学校
体験重視・人間力・学力の向上
多様な人材による総合的な教育

世界農業遺産申請予定
谷津沼農業

ユネスコスクール加盟
持続発展教育 (ESD) 推進拠点へ

地域の力

コラボレーション

里山づくり

ミヤコタナゴ

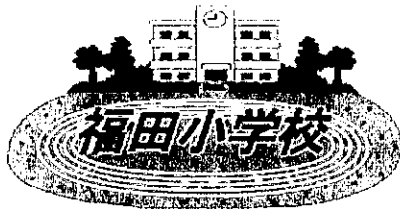
武蔵丘陵森林公園
北部の活性化・里山プロジェクト

ミヤコタナゴ
自然繁殖プロジェクト

福田小学校を特認校(特色ある学校)とするために、地域の協力を得て、武蔵丘陵森林公園と教育委員会がコラボレーションし、里山プロジェクトの一環として、ミヤコタナゴ自然繁殖を含めたプロジェクトを立ち上げる。このプロジェクトを成功させるためには、多くの関係者の協力が必要である。このプロジェクトに学校が関わることで、子供たちは、豊かな体験ができ、多様な人材とも触れ合うことができ、さらに、福田小に豊かな学びの場が構成でき、子供の人間力の育成にもつながる。

武蔵丘陵森林公園
北部の活性化・里山プロジェクト

人は人と人の間で育つ



森林公園内柳谷沼
ミヤコタナゴの棲める沼
づくり

- ・環境整備
- ・生物・環境調査
- ・異年齢交流と文化伝承



地域住民・森林公園

鳥井沼
谷津沼農業、地域の伝統的な知識システムの伝承
・稲作づくり
・環境整備
・異年齢交流と文化伝承

学校応援団

地域百貨・大学・企業

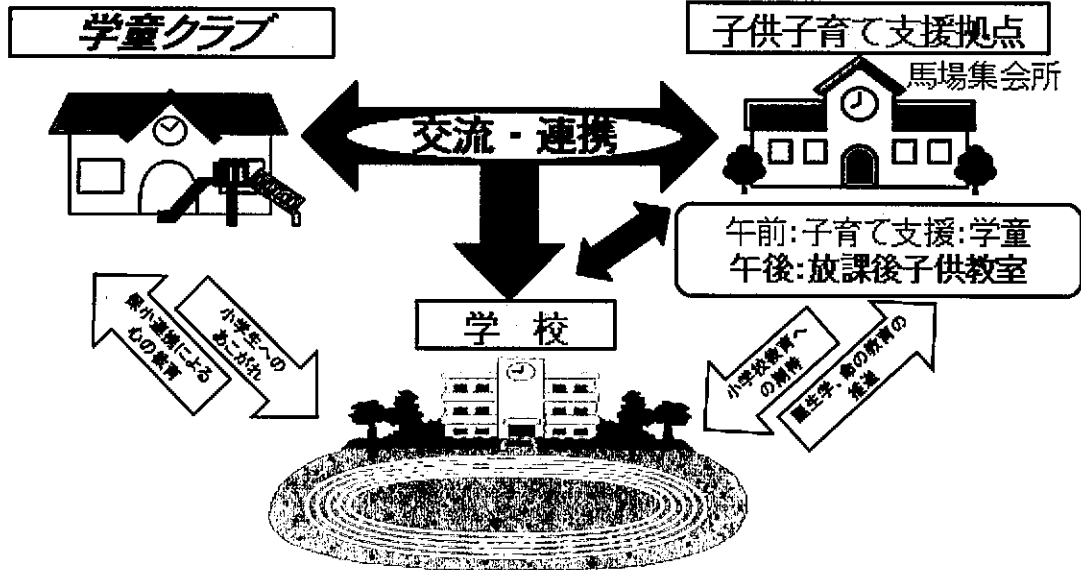


谷津の里

食育
谷津沼農業、地域の伝統的な知識システムによる食文化の伝承
・稲作づくり
・食文化の伝承

福田小学校 子供子育て支援拠点

北部地域の教育を支える子供子育ての充実を図るために、福田小学校敷地内を子供子育て拠点とする。



町の子供は町で育てる

みんなで取り組む、元気・学び・会話



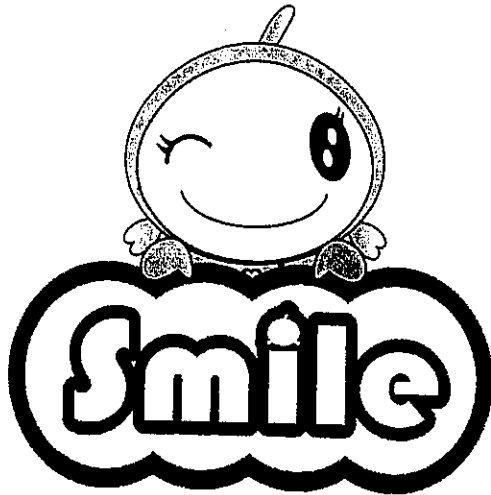
町民の皆さん、ぜひ、子供を支える応援団になってください。子供が生き生きと成長していくためには、かかわりが大切です。ちょっとしたかかわり方で、子供はぐんと成長します。皆さんで、「3つの合い言葉」を広げましょう。 滑川町教育委員会

3つの合い言葉

「元気の素をつくりましょう。」

「学びの時間をつくりましょう。」

「会話を大切にしましょう。」



○「元気の素をつくりましょう。」

- ・早寝・早起き・朝ごはんを大切にしましょう。
- ・ゲーム・テレビ・スマホ等の時間を制限しましょう。

○「学びの時間をつくりましょう。」

- ・家庭学習の時間をつくりましょう。
(運動やお手伝いを含みます)
- ・一緒に本や新聞を読みましょう。
(家読、共読の推進)

○「会話を大切にしましょう。」

- ・あいさつをかわし、目を見て会話をしましょう。
- ・「なぜ」「どうして」「なるほど」を大切にされた会話をしましょう。

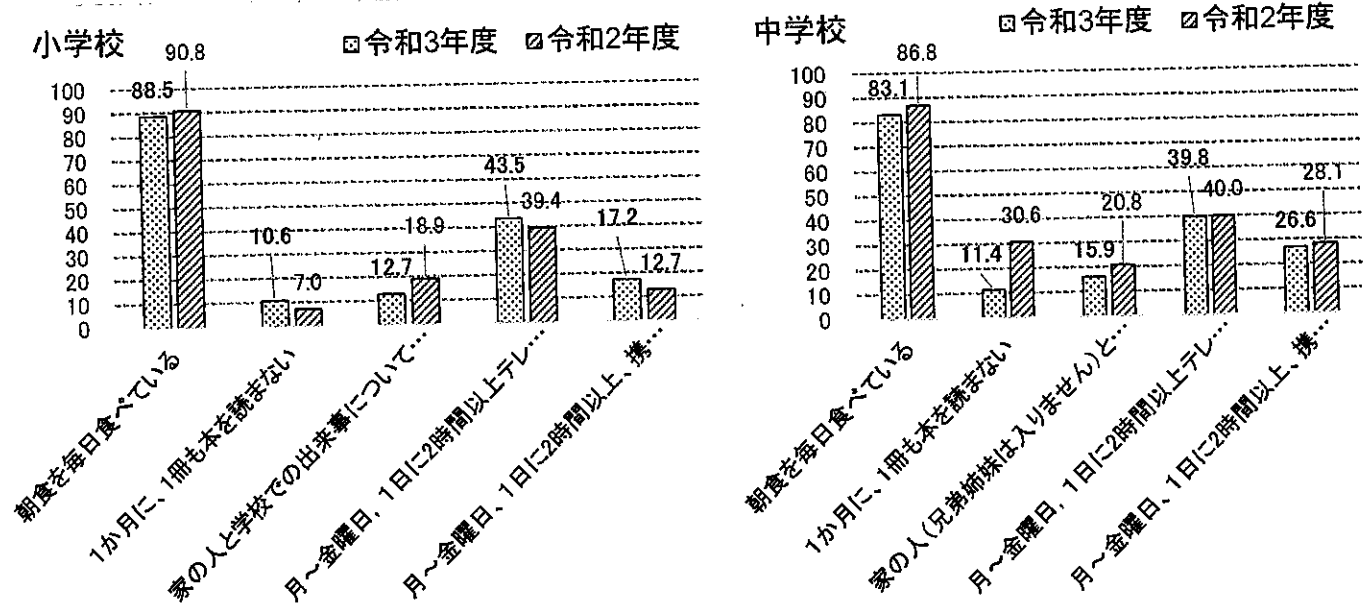
- ※「家読」：家族みんなで読書をすることで、家族のコミュニケーションを深める読書活動です。
- ※「共読」：本を読んで感じた気持ちを自分1人で完結させないで、言葉で相手に届けたり、文書や絵など様々な手段で表現して、家族や友達に伝える読書活動です。

「なぜ」「どうして」などの素朴な疑問をもつ子供は、思考力や知的好奇心が育ちます。それに対し、どうしてだろうと一緒に調べたり、「なぜ」を見つけたことを褒めたりすることで学習意欲が育まれます。そんなかかわりが、子供を大きく成長させます。

令和4年度の目標

- ◎「朝ご飯を食べない子0(ゼロ)」「ゲーム・テレビ・スマホ等の時間の減少」
 - ◎「1ヶ月に1冊も本を読まない子0(ゼロ)」
 - ◎「家庭で学校のことを話さない子0(ゼロ)」
- の3つを目指します。

【全国学力調査及び埼玉県学力調査質問紙調査結果より】 <令和2年度と3年度の比較>



- ・朝食を毎日食べている。
- ・1か月に、1冊も本を読まない。
- ・家の人(兄弟姉妹は入りません)と学校での出来事について話をしない、あまり話をしない。
- ・月～金曜日、1日に2時間以上テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。
- ・月～金曜日、1日に2時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする。

「3つの合い言葉」は、4つの源

きちんと挨拶することや、分担を決めてお手伝いすること、テレビやゲーム、携帯の時間を決めることなど、話し合っで家族のルールづくりをしてみましょう。家族で食事をする目を決めたり、一緒に読書や会話を楽しんだりするなどして、コミュニケーションを深めましょう。基本的な生活習慣づくりには、コミュニケーションが大切です。

コミュニケーションは、基本的な生活習慣づくりの源

人間の生体リズムは、脳が毎朝、太陽の光を視覚で認識することによって調整しています。これを毎日同じ時間に繰り返していると、脳が認識し、次第に自然な目覚めとともに、昼間に活発な「からだ」「あたま」「こころ」の働きが促されるようになります。また、成長に欠かせないホルモンも、このリズムに沿って、分泌されるようになります。

よいリズムは、「からだ」「あたま」「こころ」の源

運動は生活リズムを整え、社会性の発達源

運動能力の低下やスポーツをしない人の割合が増加している傾向にあります。スポーツや運動に親しむ機会をつくりましょう。また、幼少期の体験が豊富なほど、やる気や生きがいを持っている人が多いという調査結果があります。子供は、遊びやスポーツを通して人とのかかわり合うことで社会性の発達を促し、ルールや規範を理解し遵守することの大切さを学びます。

源

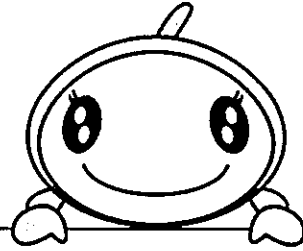
朝ご飯は、脳のエネルギー源

朝食をとることは、人間にとって大切なことです。毎日朝食をとる子供ほど、学力調査の得点が高い傾向にあります。朝食でブドウ糖をはじめとする様々な栄養素を補給して、午前中からしっかり活動できる状態をつくります。また、朝食のメリットは、栄養補給だけでなく、よく噛むことにより、脳や消化器官を目覚めさせ、早寝早起きのリズムをつくることにもつながります。

第3期 2021～2025年度

滑川町教育振興基本計画

基本理念



学んでよかったまちへ —チーム滑川での教育—
「人・まちをつなげ、未来へつながる滑川町の教育」

目指す教育の姿を実現するためには、「生きる力」が必要となります。「生きる力」は、困難な状況にあっても、たくましく、自らの人生を切り拓く力です。子供たちが将来自立し、未来を切り拓きながら生きていくためには、就学前の保育を礎にした小・中学校における9年間の学びや地域の教育力が果たす役割はとても重要です。

子供たちの「生きる力」を育み、滑川町の地で学んだことを、子どもを含めたすべての町民が誇りに思い、それを礎に夢と希望を持って未来に羽ばたき、未来へつなげていくための教育を目指します。

基本理念実現に向けての3つの目標

- 目標1 新しい時代を切り拓いていく「生きる力」を育む
—社会的・職業的に自立するための基礎を培う—
- 目標2 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上を図る
—学校・家庭・地域が互いに育て合い、子ども・地域を支える—
- 目標3 いくつになっても共に学び続けられる環境で、生涯学習を充実し、次世代に引き継ぐ

—町民が町の文化芸術、スポーツを育てる—
「第5次滑川町総合振興計画」が示す「豊かな心と文化を育むまちづくり」

滑川町教育大綱

1 基本理念

教育大綱の基本理念

豊かな心と文化を育むまちづくり

2 基本方向

基本方向1 社会の変化に対応し、町の特徴を生かしながら、町全体で未来を担う子どもを育む教育を推進する。

基本方向2 一人一人が生涯を通して、「ひと」、「まち」がつながり合う学びを推進する。

3 重点方針「町全体で進める滑川町の教育」

すべての町民が、持続可能な社会について考えを深めながら、未来の創造に向けて、生き生きと活躍できるよう、町全体で滑川町の教育を進めます。

重点方針1 町全体で子どもを育む教育の推進

重点方針2 滑川町ならではの資源を生かした多様な教育機会の創出

重点方針3 子どもの豊かな学びを支える教育環境づくり

重点方針4 誰もが社会で活躍できるための学びの保障

目標1 新しい時代を切り拓いていく「生きる力」を育む
—社会的・職業的に自立するための基礎を培う—

施策1 確かな学力を育む教育の推進

- ① 「埼玉県学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」等の結果分析と指導方法の改善
- ② 読書活動の推進
- ③ 情報活用能力の育成

施策2 豊かな心を育む教育の推進

- ① 体験活動の推進
- ② 教育相談活動の推進
- ③ 虐待から子どもを守る取組の推進
- ④ 読書活動の推進（再掲）
- ⑤ 人権教育の推進

施策3 健やかな体を育む教育の推進

- ① 食育の推進
- ② 児童生徒の体力の向上

施策4 教育的ニーズに応じた教育の推進

- ① 共生社会を目指した「多様な学びの場」の充実
- ② 不登校の未然防止の推進

施策5 円滑で継続性・連続性のある教育の推進

- ① 義務教育9年間の系統性のある教育の充実
- ② 家庭や地域と連携した幼児教育の推進

施策6 夢や志を持ち挑戦する力を育む教育の推進

- ① 一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた教育の推進
- ② 社会で活躍できる多様な力を育成する教育の推進

目標2 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上を図る

—学校・家庭・地域が互いに育て合い、子ども・地域を支える—

施策7 学校における指導体制の改善

- ① 教員の資質・能力の向上
- ② 教職員の不祥事の根絶に向けた取組推進と服務上の問題への対応

施策8 家庭・地域の力を生かした教育の推進

- ① コミュニティ・スクールの設置とその充実
- ② 子どもの安全・安心の確保と安全教育の推進

施策9 学びを支える環境づくり

- ① 学校 ICT 環境の充実
- ② 学校における働き方改革の推進

目標3 いくつになっても共に学び続けられる環境で、生涯学習を充実し、次世代に引き継ぐ

—町民が町の文化芸術、スポーツを育てる—

施策10 学び続ける環境の整備

- ① 多様な学習機会の提供
- ② 読書に親しめる環境づくり

施策11 文化芸術活動の推進と文化遺産の保護

- ① 文化芸術活動への参加の促進
- ② 文化遺産の魅力発信と学ぶ機会の充実

施策12 スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ① 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策1 確かな学力を育む教育の推進

① 「埼玉県学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」等の結果分析と指導方法の改善

- ◆ 学力の経年変化を的確に把握することにより、指導方法の改善、専門的な知識・技能の向上につなげます。

○小・中学校合同学力向上推進事業（学校教育担当）

② 読書活動の推進

- ◆ 子どもたちが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実を図ります。

○読書活動の習慣化に向けた活動促進事業（学校教育担当、図書館担当）

③ 情報活用能力の育成

- ◆ 1人1台のタブレットPC等の有効活用を図りながら、プログラミング教育を推進し、ICTなどを活用した学習活動を充実するとともに、情報社会のルールや情報セキュリティ、情報モラルの指導を行います。

○滑川町ICT推進（学習活動の充実・情報モラル）事業（学校教育担当）

施策2 豊かな心を育む教育の推進

主な取組

① 体験活動の推進

- ◆ すべての児童生徒が、在学中に自然、職場勤労・生産、社会奉仕や世代間交流などの体験を、発達段階に応じた様々な活動として行います。

○体験活動推進事業（学校教育担当）

② 教育相談活動の推進

- ◆ SC、SSWなどと連携を図り、教育相談活動を充実させ、「安心」を確立します。

○教育相談連携事業（学校教育担当）

③ 虐待から子どもを守る取組の推進

- ◆ 早期発見・早期対応を図り、家庭・地域、関係機関と連携した児童虐待防止の取組を行います。

○健康福祉連携事業（学校教育担当）

④ 読書活動の推進（再掲）

- ◆ 子どもたちが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実を図ります。

○読書活動の習慣化に向けた活動促進事業（学校教育担当、図書館担当）

⑤ 人権教育の推進

◆ 12の人権課題と性的マイノリティ（セクシャルマイノリティ）など、その他の課題の理解を学校・家庭・地域において深め、人権感覚育成プログラム等を活用し、児童生徒の人権感覚を育成します。

○人権教育推進事業（学校教育担当）

施策3 健やかな体を育む教育の推進

主な取組

① 食育の推進

◆ 子どもたちが望ましい食生活を身に付けるとともに、学校・家庭・地域が連携し、町の特徴的な食文化を生かした取組を取り入れるなど、食に対する関心・理解を深めます。

○朝食欠食0事業（学校教育担当）

② 児童生徒の体力の向上

◆ 生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力を育てるために、体育授業を中心とした教育活動全体を通して、運動やスポーツの楽しさや喜びに触れさせるとともに、運動をすることで、運動の特性を楽しめる授業を実施し、体力を高める工夫をします。また、体力向上の目標を定め、プログラムや教材を活用し、家庭・地域と連携するなど一人一人の体力を確実に伸ばします。

○体力向上推進（体力テスト体力目標達成）事業（学校教育担当）

施策4 教育的ニーズに応じた教育の推進

主な取組

① 共生社会を目指した「多様な学びの場」の充実

◆ 小・中学校における通常学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を確保するための学習環境整備に取り組みます。

○特別支援教育におけるICT推進事業（学校教育担当、教育総務担当）

② 不登校の未然防止の推進

◆ 中学校で増加する不登校生徒の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、小・中学校9年間の学びと育ちの連続性を重視した教育を展開します。また、学校と家庭の連携を密にするとともに、学校での居場所づくりを推進します。

○不登校0事業（学校教育担当）

施策5 円滑で継続性・連続性のある教育の推進

主な取組

① 義務教育9年間の系統性のある教育の充実

- ◆ 小・中学校9年間にわたる児童生徒の学びと育ちの連続性を重視した教育を展開することで、学習意欲の向上や小学校から中学校への円滑な連続を推進します。

○小中合同学力向上推進事業（学校教育担当）

② 家庭や地域と連携した幼児教育の推進

- ◆ 幼稚園・保育所・認定こども園において、家庭や地域と連携・協働しつつ、生きる力の基礎を育む幼児教育を推進します。

○家庭地域連携推進事業（学校教育担当）

施策6 夢や志を持ち挑戦する力を育む教育の推進

主な取組

① 一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた教育の推進

- ◆ 児童生徒が明確な目的意識を持って、主体的に自己の進路を選択できる能力を身に付けられるよう、自らがその活動を記録し、蓄積する教材などを活用しながら発達の段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。また、町内周辺の企業との連携を強化します。

○キャリアパスポート活用事業（学校教育担当）

② 社会で活躍できる多様な力を育成する教育の推進

- ◆ 社会人・職業人として自立できるよう、地域や企業と連携協力し、児童生徒の勤労観・職業観を育成するとともに、コミュニケーション能力や問題解決能力等を育みます。

- ◆ 問題解決に向けて自ら考え行動を起こすことができる担い手を育むため、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進します。

○ひまわり活動事業・里山プロジェクト事業の推進

（学校教育担当、生涯学習担当、文化財保護担当）

施策7 学校における指導体制の改善

主な取組

① 教員の資質・能力の向上

- ◆ 新たな学びへの対応である「情報化」に関する知識的な理解を踏まえ、授業におけるICTの効果的な活用指導力や、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を目指し、教職員のライフステージに応じた総合的・体系的な研修などを学校内外で充実します。

○滑川町ICT推進（学習活動の充実・情報モラル）事業（学校教育担当）

② **教職員の不祥事の根絶に向けた取組推進とサービス上の問題への対応**

- ◆ 不祥事根絶のための研修について、不祥事の事案に応じた内容や手法を工夫・改善することで、嗜癖に起因する不祥事を未然に防止し、倫理観の向上を図ります。

○若手教職員の不祥事の根絶に向けた取組推進（学校教育担当）

施策8 家庭・地域の力を生かした教育の推進

主な取組

① **コミュニティ・スクールの設置とその充実**

- ◆ 管理職のリーダーシップの下、地域住民や保護者等の学校運営への参画を促進するため、コミュニティ・スクールの設置とその充実を図り、町全体で児童生徒に関わることのできる協働的な活動を行います。

○コミュニティ・スクール設置促進・充実事業（学校教育担当）

② **子どもの安全・安心の確保と安全教育の推進**

- ◆ 安全意識の向上や、危険を予測し回避する能力と行動が身に付くように、避難訓練や安全教育を実施します。また、地域との連携を図り安全を確保します。

○防災教育・安全教育推進事業（学校教育担当）

施策9 学びを支える環境づくり

主な取組

① **学校 ICT 環境の充実**

- ◆ GIGA スクール構想による学習用タブレット PC を始めとする ICT 機器等を導入することで、高機能及び多機能な学習環境の整備充実に努めます。また、情報社会のルールや情報セキュリティ、情報モラルの指導を行います。

○滑川町 ICT 推進（学習活動の充実・情報モラル）事業

（学校教育担当）

② **学校における働き方改革の推進**

- ◆ タイムマネジメントやワーク・ライフ・バランス等に関する研修等を実施し、教職員の意識改革と業務改善を推進します。勤怠管理システムの活用を図り、在校時間の把握と共に、仕事内容の精選に取り組みます。また、ふれあいデーや学校閉庁日等を実施し、休みやすい環境の整備も引き続き推進します。

○正規の勤務時間を除いた在校時間月 80 時間以上教職員 0 事業（学校教育担当）

施策10 学び続ける環境の整備

主な取組

① 多様な学習機会の提供

- ◆ 町民の多様なニーズに応じた学習機会の提供に努めるとともに、県や関係機関と連携し、生涯学習情報の提供に努めます。
- オンラインによる公民館教室実施事業（生涯学習担当）
- サークル活動充実推進事業（生涯学習担当）

② 読書に親しめる環境づくり

- ◆ 町立図書館の整備・充実を図り、読書に親しめる、よりよい生涯学習の場となるよう環境や体制の構築に努めます。
- 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備（図書館担当）

施策11 文化芸術活動の推進と文化遺産の保護

主な取組

① 文化芸術活動への参加の促進

- ◆ 町の特徴的な資源を生かした活動を取り入れたり、発表会や文化祭等を開催することで、文化芸術活動の充実を図り、町民の参加意欲の向上を図ります。
- 文化芸術活動作品展の常設展示事業（生涯学習担当）
- 文化芸術活動充実事業（発表の場の工夫）（生涯学習担当）

② 文化遺産の魅力発信と学ぶ機会の充実

- ◆ 展示を企画実施し、文化財の魅力を発信します。また、町の特色ある文化景観、衣食住を含めた民俗文化などの保護意識の醸成を図るとともに、文化財に触れ学ぶ機会の充実を図ります。
- 巡回文化財展「比企のタイムカプセル」の開催を中心とした展示企画事業（文化財保護担当）
- 里山プロジェクト事業の充実（文化財保護担当）

施策12 スポーツ・レクリエーション活動の推進

主な取組

① 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

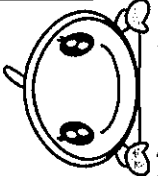
- ◆ ライフステージに対応したスポーツ・レクリエーションの楽しみ方である「する」「みる」「つながる」「支える」等の観点から、多様なスポーツ・レクリエーションにかかわり、世代間交流を通して、スポーツ・レクリエーション活動の普及、促進に努めます。
- ◆ 地域のスポーツ・レクリエーション団体の適切な運営、活動を支援し、それを支える人材の育成等に努めます。
- コロナ禍におけるスポーツ・レクリエーション活動推進事業（生涯スポーツ担当）

令和4年度

滑川町教育行政重点施策

概要版

基本理念



滑川町教育委員会では、昨年度から令和7年度までの5年間に取り組むべき教育施策の体系を明らかにした「第3期滑川町教育振興基本計画」を策定し、教育行政を推進しています。

本計画では、「社会的・職業的に自立し、他者と共生することで、社会に貢献する人」の育成を掲げています。そのため、社会的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら作り出していくための資質・能力を育成する教育を昨年度の実践を踏まえ、本年度の重点施策を明らかにし、本計画の実現を図ります。以下に重点的な取組を示し、効果的かつ着実に施策を展開してまいります。

学んでよかったまちへ -チーム滑川での教育-
「人・まちをつなげ、未来へつながる滑川町の教育」

目標1 新しい時代を切り拓いていく「生きる力」を育む -社会的・職業的に自立するための基礎を培う-

施策1 確かな学力を育む教育の推進

- ① 「埼玉県学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」等の結果分析と指導方法の改善
- ② 読書活動の推進
- ③ 情報活用能力の育成

施策2 豊かな心を育む教育の推進

- ① 体験活動の推進
- ② 教育相談活動の推進
- ③ 虐待から子どもを守る取組の推進
- ④ 読書活動の推進(再掲)
- ⑤ 人権教育の推進

施策3 健やかな体を育む教育の推進

- ① 食育の推進
- ② 児童生徒の体力の向上

施策4 教育的ニーズに応じた教育の推進

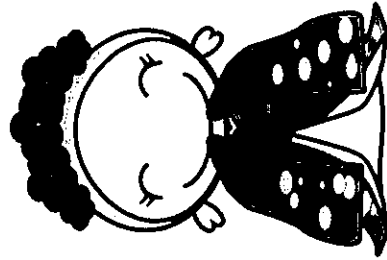
- ① 共生社会を目指した「多様な学びの場」の充実
- ② 不登校の未然防止の推進

施策5 円滑で継続性・連続性のある教育の推進

- ① 義務教育9年間の系統性のある教育の充実
- ② 家庭や地域と連携した幼児教育の推進

施策6 夢や志を持ち挑戦する力を育む教育の推進

- ① 一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた教育の推進
- ② 社会で活躍できる多様な力を育成する教育の推進



目標2 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上を図る -学校・家庭・地域が互いに育て合い、子ども・地域を支える-

施策7 学校における指導体制の改善

- ① 教員の資質・能力の向上
- ② 教職員の不祥事の根絶に向けた取組推進と服務上の問題への対応

施策8 家庭・地域の力を生かした教育の推進

- ① コミュニティ・スクールの設置とその充実
- ② 子どもの安全・安心の確保と安全教育の推進

施策9 学びを支える環境づくり

- ① 学校 ICT 環境の充実
- ② 学校における働き方改革の推進

目標3 いくつになっても共に学び続けられる環境で、生涯学習を充実し、次世代に引き継ぐ -町民が町の文化芸術、スポーツを育てる-

施策10 学び続ける環境の整備

- ① 多様な学習機会の提供
- ② 読書に親しめる環境づくり

施策11 文化芸術活動の推進と文化遺産の保護

- ① 文化芸術活動への参加の促進
- ② 文化遺産の魅力発信と学ぶ機会の充実

施策12 スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ① 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進